

実施日：令和4年6月9日（木） コマ：3

事業名：地震津波観測・地殻観測

とりまとめ結果：現状通り

廃止0名	事業全体の抜本的な改善1名	事業内容の一部改善1名	現状通り4名
------	---------------	-------------	--------

【とりまとめコメント】

- ひずみ観測（異常値観測）と地震との関係を成果指標とすべき。
- 単位当たりコストの諸元が不適切。
- 技術進歩に応じて随時見直しを行うことが重要。
- 引き続き調達面での競争性確保に努めていただきたい。

【外部有識者の主なコメント】

- ・ 現状どおりでよい。ただし、技術進歩に応じて随時見直しを行うことが重要。
- ・ ひずみ観測（異常値観測）と地震との関係を成果指標とすべき。単位当たりコストの諸元が不適切。
- ・ 地震の予測が難しいのに、幅広くデータを集めているが、どこまでそのデータを集める必要があるかは疑問。
- ・ 十分な情報量をいっそう費用効率的に収集する取り組みを一層進めていただきたい。
- ・ 南海トラフのためなのか、地震のデータ収集のためなのか、事業の目的がわかりにくい。
- ・ 随意契約、債務負担行為が多いのはやむを得ない事業であるが、具体的にどのように改善していくのか、継続的に検討が必要。
- ・ 将来的に科学的知見の変更により、さらなる転換が起こる可能性もあるのでないかと思うが、必要な転換が迅速に行えるよう、前広に情報収集し、適切な体制が整えられるようしていただきたい。